

平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

I 事業概要

平成27年度は通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

1 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ①全国各地における普及啓発事業を展開できる人的体制整備としての愛玩動物飼養管理士通信関係事業にかかる広報戦略の新たな展開（ウェブ広告など）。
- ②1級愛玩動物飼養管理士の支所活動実績等を評価するための顕彰制度として創設した上級愛玩動物飼養管理士（Active Pet Care Advisor）制度の着実な運用。

2 多様な機会や手段を活用した適正飼養の普及

- ①飼い主に対して、直接、適正飼養等の知識に関する研修教育を実施する仕組みとしての「ペットオーナー検定」の実施。
- ②各種ペット関連団体を対象にした適正飼養活動推進のための助成事業の実施。
- ③機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所における機関誌の配置やイベント等での配布。
- ④本協会ホームページの刷新。

3 人と動物とが共存する社会基盤づくりの推進

- ①全国ペット・ツーリズム推進連絡協議会の事務局運営及びシンポジウムの開催。
- ②大学等における適正飼養の普及に関する講座等の実施。

4 我が国ならではのペットの文化及び技術の推進

- ①産官学民の連携によるペットとのふれあいの推進にかかるシンポジウムの開催。

5 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ①部課制に移行した事務局及び業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営。
- ②受講受験関係業務の効率化・合理化を図るための事務所の整備及び災害時等のリスク分散を図るための諸体制の検討。
- ③嘱託職員を配置した「支所」の運営と支所協力会員の募集・登録。

II 業務内容

1 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

1) 国及び地方自治体の事業への協力

(1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力：中央行事

①動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターを各都道府県の会員に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

②中央行事：動物愛護ふれあいフェスティバル

平成27年9月6日(日)・12日(土)に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護ふれあいフェスティバル」を「飼う前も、飼ってから考えよう」のテーマのもとに開催した。

・屋内行事：各団体表彰式、動物愛護シンポジウム

中央行事実行委員会の主催により、9月6日(土)に、上野公園内東京国立博物館平成館講堂にて、各団体の表彰式と講演を開催した。

・屋外行事：9月12日(土)、東京都台東区上野恩賜公園内噴水池前広場の行事内容 動物愛護ふれあいフェスティバル

会 場	内 容
野外ステージ	動物愛護セレモニー、〇×クイズ大会、動物のふれあい方教室、小野慎二郎氏による写真教室、松本秀樹氏による犬の五感体験、愛犬のしつけ方教室
パネル展示コーナー 中テント	動物愛護週間ポスターコンクール入賞作品展、お散歩のマナー啓発パネル、全国ペット写真コンテスト入賞作品展ほか
ブース広場 こども広場	災害対策コーナー、マイクロチップ啓発コーナー、ペット美容実演、動物相談コーナー、ペットフード等サンプリング、ブース出展社による各種展開、おりがみコーナー、お絵描きコーナー、アニマルフォトスタジオ ほか
抽選コーナー	スタンプラリー

野外ステージでは、東京都支部が「〇×クイズ大会」「動物のふれあい方教室」を担当し、犬、猫、小鳥、小動物に関するクイズの出題や図解したボードを用いてふれあい方の説明を行った。

(2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

地方自治体が実施した下記講習会に本協会が講師等を推薦した。

組織名	日程等	研修会、講習会の名称
茨城県 茨城県狂犬病予防業務推進 及び動物愛護地域連絡会議	平成27年12月	「ペットの防災、災害に備えて」(行政、獣医師向け)

茨城県 茨城県動物愛護推進員研修会	平成28年 1月	「ペットの防災、災害に備えて」(飼い主、ボランティア向け)
山梨県 山梨県委託事業 猫の飼い方教室	平成27年 5月 平成27年10月	「猫にとって安心・安全な暮らしとは？」(一般向け) 2回実施
名古屋市	平成28年 3月	動物愛護推進員の心得(新任推進員向け)

(3) 本協会会議室の提供

一般財団法人全国緊急災害時動物救援本部、全国ペットツーリズム連絡協議会等に本協会の会議室を提供した

2) 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育の実施

二級愛玩動物飼養管理士(35期)及び一級愛玩動物飼養管理士(31期)の通信教育を実施した。平成27年度申込の愛玩動物飼養管理士の新規受講者総数は9,724名であり、前年度比約90% 1,089名減少となった。

内訳は、一般個人受講者数が3,373名で前年度比93.3% 243名減、企業団体受講者数は183名で前年度比87.1% 27名減、スクール団体受講6,168で前年度比88.3% 819名減となった。

一般個人受講者の減少は、アニコムやベネッセの顧客層に対する募集や広報が一巡したことによるが、スクール団体の減少については、専門学校生徒の減少などが影響していると考えられた。

(カッコ内は夏期申込者数)

受験級	受講者数	受講者構成	受講者数	構成比(%)
一級	1,662(71)	一般個人	3,373(1,112)	34.7
二級	7,368(1,045)	企業団体	183(0)	1.9
準二級	694(21)	スクール団体	6,168(25)	63.4
計	9,724(1,137)	計	9,724(1,137)	100.0

(2) 平成27年度認定試験の実施(12月、2月)

春期申込の試験は12月20日(日)、一般35会場、独自16会場で実施、夏期申込の試験は2月28日(日)、一般13会場で実施した。

過去の合格率や合格基準点等を踏まえて、1級の合格者1,203名、2級の合格者5,109名、準2級の合格者474名とし、平成27年度認定試験(12月)の合格者の合計は6,786名となった。

なお、平成28年2月28日(日)に行われた平成27年度2月愛玩動物飼養管理士認定試験については、1級の合格者115名、2級の合格者1,138名、準2級の合格者41名とし、平成27年度認定試験(2月)の合格者の合計は1,294名となった。

認定試験実施結果 (カッコ内は2月認定試験)

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率(%)
一級	1,819(218)	1,603(162)	1,318(115)	82.2
二級	8,625(1,838)	7,395(1,472)	6,247(1,138)	84.5
準二級	752(73)	710(67)	515(41)	72.5
計	11,196(2,129)	9,708(1,701)	8,080(1,294)	83.2

(3) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

①学校法人等との協力(指定校・採用校)

平成27年度の愛玩動物飼養管理士採用校は123校となった。

(継続採用118校、新規5校)

愛玩動物飼養管理士養成指定校は、平成26年度から新たに1校を加え、合計29校となった。

・新規採用校

青山ケンネルスクール東京校、神戸ブレーメン動物専門学校、
静岡県立静岡農業高等学校、兵庫県立農業高等学校、奈良県立山辺高等学校

・新規指定校

盛岡ペットワールド専門学校

・既存指定校

沖縄ペットワールド専門学校、学校法人穴吹学園 穴吹動物専門学校、学校法人 宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校、河原アイペットワールド専門学校、京都動物専門学校、広島情報ビジネス専門学校、群馬県立勢多農林高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校、学校法人 大阪ビジネスカレッジ専門学校、学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校、国際ペットワールド専門学校、専門学校 ルネサンス・ペット・アカデミー、横浜トリミングスクール、浜松トリミング専門学院、九州ペット美容専門学院、学校法人東京愛犬学園 東京愛犬専門学校、学校法人 高橋学園 エス・ワン動物専門学校、リバティペットケアカレッジ、学校法人孔明学園 東北愛犬専門学院、群馬動物専門学校、学校法人 工藤学園 愛犬美容看護専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、ナンパペット美容学院、専門学校穴吹動物看護カレッジ、学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校

②各種企業等との協力について

平成27年度は既存企業9社より、計187名の申込があった(前年度比84%)。

(【1級】新規20名【2級】新規161名、再受講受験2名、再受験4名)

イオンペット株式会社、株式会社あらた、ジャペル株式会社、イオン九州株式会社、株式会社ユーホー、エコートレーディング株式会社、株式会社ダイユーエイト、アニコム損害保険株式会社、ジョイフルエーケー トリミングスクール の9社。

(4) 認定委員会・教材等

改正された動物愛護管理法を平成27年度教材に反映するなど必要な追加改定を行った。

①教本について

平成28年度の教本作成に向けて、内容の点検を行ない、必要箇所の修正を行なった。

②課題報告問題・認定試験問題について

1級136問、2級127問の課題報告問題および解答集の作成を行なった。また、これを受けて、認定試験問題候補集の点検及び修正作業を行なった。

③スクーリングについて

春・夏申込を合わせて、一般会場では1級33会場、2級65会場、独自（スクール）会場では1級3会場、2級22会場で実施した。

④受講受験生対応について

受講受験者データベースの整理を行い、問い合わせ等に迅速に対応できるようにするとともに、速やかな教材発送とスクーリング資料の発送をできるように、発送業務を協会（信濃町）にて行う体制の整備を図った。また、引き続き外部委託の見直しを図り、コストの節減と作業の効率化を実施した。

⑤役職員懇談会の開催

協会設立35周年を迎えたことから、時代や社会の求めるニーズにより適合した協会のあり方を検討するために、27年11月に役職員の懇談会を開催した。

(5) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

従来から行っている全国紙や地方紙への広告掲載を行うとともに、リーフレットやポスターなどの広報物を全国の自治体・図書館や協力企業などへ送付した。また、『いぬのきもち』と『ねこのきもち』（合計20万部）にリーフレットの同梱や、リクルート刊行の通信講座大辞典等への広告掲載も実施した。このほかにも、社会の情報源がインターネットを通じた媒体に移っていることから、今期からWEB広報としてリスティング・ディスプレイ広告及びメルマガ等を活用した広報に取組んだ。メルマガでは、『いぬのきもち』と『ねこのきもち』の読者や「アニコム」の契約者約20万人に対しての配信を実施した。

動物愛護週間に向けては、電車内（首都圏のJR・西武線）でのステッカー広告（9月）を実施し、中央行事等への協賛と協会の知名度アップを図った。

こうした中、27年度募集の落ち込みが大きいことから、新たな広報媒体として、女性誌（アンアン）、男性誌（ブルータス）でのPRを実施した。さらに、ケーブルTVでのPR動画の放映を28年3月から行ったほか、「イオンペット」の顧客約30万人に対してのメルマガ配信や協会のリーフレット配布を実施した。

(6) 愛玩動物飼養管理士制度の位置付けの見直し

自民党の環境関係業界育成PTを中心に動物看護師の国家資格化等の動きがあるが、この動きとの調整を図りながら、愛玩動物飼養管理士の資格制度の位置付けのあり方に関する検討作業を行った。

(7) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

支所協力会員のうちの204名を、上級愛玩動物飼養管理士審査会の答申を踏まえて上級愛玩動物管理士に認定することが決定し、支所長に通知した。

3) 支所との連携強化

(1) 平成27年度支所交付金の送金

支所へ下記の通り交付金を送金した。

- ①4月2日付—東京都・神奈川県・富山県・岡山県・愛媛県・高知県支所以外の27支所
- ②5月13日—東京都・富山県・岡山県支所（支所の銀行口座開設手続き完了後に送金）
- ③6月4日—神奈川県支所（同上）
- ④6月30日—高知県支所（同上）
- ⑤10月1日—鳥取県支所（追加予算）
- ⑥11月20日—滋賀県支所（支所活動開始のため）

(2) 大阪府・滋賀県・愛媛県支所への対応

平成27年3月末までに支所長が決定していなかったため、支所活動が開始できない3支所への対応を行った。

- ①大阪府支所：平成27年4月・6月—大阪府支部の前支部役員との話し合い
8月・9月—旧支部役員および現支所協力会員に対し、10月開催の支所説明会の案内通知送付
10月—支所長就任のための関係書類を新支所長候補者へ送付
平成28年1月—新支所長に桑原良樹氏就任
- ②滋賀県支所：6月—7月開催の滋賀県支所説明会開催に向けて、支所協力会員に通知
9月—支所長引き継ぎのための関係書類を新支所長候補者へ送付
10月—新支所長に佐藤美佳氏就任
- ③愛媛県支所：8月—旧支部役員および現支所協力会員に対し、10月開催の支所説明会の案内通知送付
10月—支所長引き継ぎのための関係書類を新支所長候補者へ送付
新支所長に山根しのぶ氏就任

(3) 支所長会議の開催

- ①5月23日（土）10：30～11：50にTKP信濃町ビジネスセンターにおいて、平成27年度第1回支所長会議を開催した。当日出席した31支所の支所長に対し、今年度の方針・スケジュールについて説明を行った。
- ②11月14日（土）13：30～16：30にTKP信濃町ビジネスセンターにおいて、平成27年度第2回支所長会議を開催した。当日出席した33支所の支所長に対し、防災関連の活動、支所長への謝金、ペットオーナー検定の運営、支所予算・決算、ブロック会議について説明を行った。

(4) ブロック別支所会議

下記会場において、4ブロックの支所会議を開催した。出席した支所長および上級愛玩動物飼養管理士に対し、支所活動、今後の支所の進め方、上級管理士規程（役割）、ペットオーナー検定について説明し、意見交換を行った。

- ①中国・四国ブロック— 平成28年1月24日（日）
岡山県市民会館（岡山県岡山市） 出席者12名
- ②九州・沖縄ブロック— 平成28年1月31日（日）
九州ビル（福岡県福岡市） 出席者21名
- ③東海ブロック — 平成28年2月7日（日）SOHOプラザ栄（愛知県名古屋市）
出席者10名
- ④首都圏ブロック — 平成28年3月27日（日）TKP信濃町ビジネスセンター（東京都新宿区） 出席者44名

※他3ブロックは、28年4月3日、4月10日、4月17日に実施。

(5) ボランティア保険の追加加入
支所協力会員 1,629 名の加入手続きを行った。

(6) 支所への事務機器等の貸与
支所化に伴い、下記対応を行った。

- ①スマートフォンの貸与（20支所）—北海道、群馬県、東京都、山梨県、長野県、愛知県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、愛媛県、徳島県、高知県、福岡県、長崎県、宮崎県、沖縄県支所
- ②プリンターの貸与（2支所）—群馬県、千葉県支所
- ③パソコンの貸与（1支所）—埼玉県支所
- ④インターネットFAXの貸与（2支所）—東京都、神奈川県支所

4) 調査研究及び情報の収集、提供

(1) 平成26年度犬・猫の暮らし向き調査研究について

東京農工大学と本協会これまで行ってきた寿命調査の内容に従って、一般社団法人日本小動物獣医師会の会員の協力を得て実施した。

(2) 閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学术论文等の収集と提供を行った。

5) 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) 電話や手紙によるペット飼養相談の受付

電話や手紙などによるペット飼養に関する相談を受け、適切な対応を行った(約50件)。

(2) 第35回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第35回全国ペット写真コンテスト」を開催した。環境省、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、一般社団法人ペットフード協会に後援名義使用許可の申請を行った。作品は6月30日応募締め切り(当日消印有効)で、7月27日(月)開催の審査会にて168点の応募作品(応募者数67名)より12点の入賞作品を選出した。

上位入賞者表彰式は9月12日(土)、中央行事屋内会場(東京国立博物館平成館)において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを贈呈した。入賞作品はパネルにして、9月6日(日)、屋外行事会場(上野恩賜公園内噴水池前広場)に展示した。

表彰式を欠席した上位入賞者および入選者には賞状と副賞(ペット大賞および推選は賞金と作品画像入りトートバッグ、入選はトートバッグ)を送付した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	ゆっくり歩こ	大竹 俊夫	5万円
推選・ジャパンケネルクラブ賞	二人五脚	村上 愛子	3万円
推選・ペットフード協会賞	至福の時	山中 利文	3万円
推選・日本愛玩動物協会賞	いつも一緒だよ	勝美 淳	3万円

過去の入賞作品パネルは、要請により貸与し、全国の動物愛護週間行事で活用された。貸与

先は次のとおり。

北海道オホーツク総合振興局、北海道渡島総合振興局、鹿児島県、郡山市保健所、市川市、本協会静岡県支所および宮崎県支所

6) 調査研究活動への助成

家庭動物の適正な飼養管理について、科学的知見を踏まえた各種普及啓発活動を実施するための基盤整備、調査研究の活性化および研究者の育成を図ることを目的に、大学・研究所等に調査研究活動への助成を行った。また、平成29年度募集に向け、以下3学術大会にて募集案内のチラシを配布した。（日本獣医内科学アカデミー、獣医学術学会年次大会、ヒトと動物の関係学会）

平成27年度は、平成28年度助成申請希望者は4名おり審査会の結果、平成28年度は下記1名を採用した。

※東北大学災害科学国際研究所 安田 容子氏

「松森 胤保の著作にみる動物観に関する研究-動物の飼育愛玩に関する記録から-」

※平成29年度募集に向け、以下3学術大会にて募集案内のチラシを配布した。

日本獣医内科学アカデミー、獣医学術学会年次大会、ヒトと動物の関係学会

7) 機関誌等図書印刷物の刊行

(1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

全国の図書館への寄贈を行い、また、機関誌の裏表紙に管理士の通信教育や入会に関する告知を掲載することで、広報も合わせて行えるようにした。

一部ペット同伴宿泊が可能な高輪・品川プリンスホテルやザ・プリンス箱根にて、宿泊客向けに機関誌の配布を行った。

各号の主な内容は次のとおりである。

機関誌の特集テーマ

243号（5月発行）	ペット好きだからこそ楽しめる 動物園や水族館にいこう！
244号（7月発行）	愛するペットを“健康で長生き”に！ 高齢ペットの飼養管理
245号（9月発行）	もっと知りたい！ 動物愛護センター
246号（11月発行）	ペットフードについてもっとよく知ろう
247号（1月発行）	ペットの適正飼養 健康管理と衛生管理
248号（3月発行）	ペットイベントで盛り上がる！

(2) パンフレット等の作成、頒布

次のとおり作成、頒布した。

パンフレット等の頒布状況（概数）

愛玩動物飼養管理士リーフレット（夏期）	28,000
愛玩動物飼養管理士リーフレット （いぬのきもち・ねこのきもち同梱用）	400,000
愛玩動物飼養管理士ポスター（夏期）	1,600
愛玩動物飼養管理士リーフレット（H28 春期）	20,000
愛玩動物飼養管理士ポスター（H28 春期）	2,000
愛玩動物飼養管理士リーフレット （いぬのきもち・ねこのきもち同梱用）	400,000
愛玩動物飼養管理士パンフレット（団体用）	3,000

(3) 協会ホームページ

平成26年7月から準備を進めてきたホームページのリニューアル作業が完了し、平成27年1月24日より新ホームページの公開を開始した。今後は、協会の活動などをまとめたサイトと、愛玩動物飼養管理士の案内に特化したサイト、ペットオーナー検定の3サイト運営となる。

8) ペットオーナー検定

賢明な飼い主のすそ野を広げるために、一般的な飼い主を対象にしたペットについての初歩的な知識等に関する検定事業（ペットオーナー検定）を開始した。平成27年度は、テキスト・講習会資料を作成するとともに、受験申込みの受付・教材の発送・試験の実施・試験結果の採点・合格証の発送の一連の作業を効率的に行うことができるようなシステムや体制の整備を行うとともに、検定試験については札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡において計9回開催した。受験申込者は計601名であった。

また、28年度のペットオーナー検定準備作業を実施し、全国34都市41会場での実施が決定した。

27年度ペットオーナー検定実施結果（カッコ内は合格者数）

地域	会場	受験者数	内会員申込者数
東京(27年10月25日)	信濃町ビジネスセンター	75 (75)	16
大阪(27年12月6日)	T K Pガーデンシティ東梅田	57 (57)	13
北海道(27年12月6日)	札幌市教育文化会館	20 (20)	5
宮城(27年12月6日)	仙台医療福祉専門学校	25 (25)	3
愛知(28年1月27日)	Im yホール	45 (45)	8
広島(28年1月27日)	広島国際会議場	18 (18)	2
東京(28年1月27日)	飯田橋レインボービル	157 (157)	29
福岡(28年2月7日)	九州ビル会議室	33 (32)	5
大阪(28年2月7日)	新梅田研修センター	33 (31)	9
東京	東洋大学	138 (132)	0
計		601 (592)	90

※協会会員の加入者が90人におよんでおり、会員増強に寄与している。

※ペットオーナー検定受験者の内、募集要項取り寄せ122件、2級管理士の春期申込み者は36名(4/21現在)

9) ペットツーリズム等を通じた適正飼養の普及、ペットに関する文化・技術等の振興を通じた適正飼養の普及の推進

東洋大学においてわが国初の授業である「ペットツーリズム論」を平成24年度から引き続き本協会の寄付講座として開講するとともに、東洋大学に対する奨学寄附金により本授業及び前述のシンポジウム並びにペットツーリズム等の動向や実態に関する資料をまとめた報告書を作成し、関係機関に配布した。また、平成27年度の授業を、9月23日より開始した。今回の受講者数は約150人であった。

また、3月16日にペットとのふれあい活動の推進方策をテーマとしたシンポジウムを東洋大学において実施し(参加者は約150人)、ペットとのふれあい活動ハンドブックを配布した。

10) 会員

会員特典を次のとおり充実させた。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	インターズー
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリミング・ペットホテル料金の割引	西武ペットケア
ペット用品専門通販の割引購入	インターズー・クリニッククラブ
宿泊費・キャンプサイト利用料の割引	休暇村協会
ホテル・ゴルフ場・スキー場などの優待利用	プリンスホテル
入会金および年会費の寄付金控除	内閣府
ペトリスク対策推進助成制度	本協会

11) 寄付金

寄付金の受け入れ及び執行に関する調整業務を実施した。また、一般会員の会費を税額控除の対象となったことから、協会のホームページ等を利用した寄付金募集の開始に関する検討作業を実施した。

12) 各種プロジェクト活動への助成

各種プロジェクト活動助成規程に基づき、愛玩動物の愛護と適正な飼養及び管理に関する公益または本協会の事業の発展に資することを目的として、①飼い主教育、②所有者明示、③公衆衛生（迷惑防止を含む）、④みだりな繁殖制限、⑤災害時対策、⑥その他の分野に関する活動に対する助成を行った。

平成27年度は下記5団体に助成することが決定した（順不同）。

①ワンコネット那須協議会②わうくらす③沖縄県愛護の会④長野県動物愛護会佐久支部地域部⑤呉ボランティア

2 その他本協会の目的を達成するために行った事業

1) 関係団体との情報交換等の実施

幅広い情報の収集を図るために、関係団体との情報交換を行った。また、普及啓発活動の推進に当たって必要となる環境整備を図るため、災害時における動物救護及びマイクロチップ等による所有者明示措置等の関連事業を、関係団体との連携を図りながら実施した。

2) 「第27回日本動物児童文学賞」への審査協力

公益社団法人日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために、動物の愛護、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から椎野雅博副会長が審査員として協力した。

3) 台風18号に関連した大雨による災害の被災動物支援の主な活動

平成27年9月10・11日に大雨による災害が関東および東北で発生したため、一般財団法人全国緊急災害時動物救援本部（どうぶつ救援本部）に協力し、被災地の情報収集を開始した。栃木県支所および茨城県支所の支所長と連絡をとり、避難者によるペットとの同行避難の状況、避難所の様子、現地の行政および民間団体の取り組みなどについて、どうぶつ救援本部に情報提供した。また、どうぶつ救援本部からの依頼により、両支所長が物資を入手し、上級愛玩動物飼養管理士数人の協力を得て避難所への運搬を行った。

9月15日には、どうぶつ救援本部の事務局長に協会の理事が補佐として同行し、茨城県内

を視察した。茨城県庁および茨城県動物指導センターにて行政の担当者と話し合いを行うなどして、被災地の状況を確認した。

4) 規程等の整備

本協会規程の新設と変更を次のとおり行った。

区分	規程名	会議名	議決日
変更	自己啓発・研修等規程	第1回業務執行理事会	平成27年4月3日
変更	「定款、会員の資格」「会員の資格の得喪に関する細則」「会員等の位置づけ及び会費に関する細則」「理事・監事等に対する報酬等の支給の基準」	平成27年度社員総会	平成27年5月23日
変更	「上級愛玩動物飼養管理士細則」「就業規則」	第3回定例理事会	平成27年11月9日
変更	「愛玩動物飼養管理士細則」	第5回定例理事会	平成28年3月7日

5) 協会が関係する外部会議及び行事

(1) 業務執行理事及び職員

会議等の名称	関係者・出席者
全国動物愛護推進協議会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物ID普及推進会議	協会本部役員・職員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
宮城県動物愛護推進協議会	協会本部役員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会総会	協会本部役員
平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会	協会本部役員
インターペット(ペットフード協会)	協会本部役員
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員
いぬのきもちオータムフェスタ	協会本部役員・職員
各指定校の評議員会等	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員
グッドライフ・ドッグライフカーニバル in 軽井沢	協会本部役員・職員

(2) 理事(業務執行理事以外)・顧問

会議等の名称	関係者・出席者
いわき市動物救援本部会議	長岡理事
環境省動物愛護審議会	臼井顧問

各指定校の卒業式・入学式	上田顧問・橋本顧問
関係各党・団体の各種意見交換会	上田顧問・橋本顧問 川口顧問
震災対応の各種動物救護活動	福田顧問・橋本顧問

(3) 支所長

会議等の名称	関係者・出席者
公益財団法人千葉県動物保護管理協会評議員会	駒田 房江
ぽい捨て等防止条例施行状況検討懇談会	林 順一
各都道府県の愛護関係推進協議会	各支所長
関係各党・団体の各種意見交換会	各支所長
震災対応の各種動物救護活動	勝山支所長、福田支所長

6) 各種行事への後援等

主催	開催時期	開催地	内容
全日本チャボ保存協会	平成27年4月	東京都	第77回チャボ全国品評会 後援
一般社団法人JVF	平成27年7月	大阪府	WJVF 第6回大会 後援
三重県	平成27年9月	三重県	平成27年度 動物愛護の 絵・ポスター募集 後援
動物愛護フェスティバル 2015 イン伊那実行委員会	平成27年9月	長野県	動物愛護フェスティバル 2015 イン伊那 後援
狂犬病臨床研究会	平成27年9月	東京都	世界狂犬病デー2015 JAPAN 後援
アウトドアドッグフェスタ in 八ヶ岳実行委員会	平成27年9月	山梨県	アウトドアドッグフェスタ in 八ヶ岳
動物愛護フェスティバル 2015 イン小諸実行委員会	平成27年9月	長野県	動物愛護フェスティバル 2015 イン小諸
西武ホールディングス	平成27年10月	長野県	グッドライフ・ドッグライフ カーニバル in 軽井沢
一般社団法人ジャパンケネルクラブ	平成27年11月	大阪府	ジャパンドッグフェスティ バル2015
公益社団法人Knots	平成27年11月	兵庫県	第15回りぶ・らぶ・あにま るずフェスティバル2015
ペットとの共生推進協議会	平成27年11月	東京都	第4回ペットとの共生推進協 議会シンポジウム
ちよだ猫まつり実行委員会	平成28年2月	東京都	ちよだ猫まつり2016
公益財団法人 日本動物愛 護協会	平成28年2月	東京都	第8回日本動物大賞

平成 28 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会	平成 28 年 2 月	新潟県	マイクロチップに対する動物愛護・福祉の立場からの期待と課題 講演：東海林克彦
一般社団法人ペットフード協会、メサゴ・メッセフランクフルト株式会社	平成 28 年 3 月	東京都	インターペット 2016

3 役員、会議、委員会等

1) 役員等 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

(1) 役員

役員 (16)	代表理事 (1)	会 長	東海林克彦
	業務執行理事 (5)	副会長	椎野雅博
		常務理事	阿部剛司、大島誠之助、天川九二夫、武田和彦
	理 事 (8)		飯島英恵、池田毅、対馬美香子、長岡裕子、林谷秀樹、浅野明子、崎田克康、堤田治
	監 事 (2)		安部正弘、望月克夫
	名誉会長 (1)		小川益男
	相談役 (3)		経徳禮文、鈴木松衛、西村尚一
	顧 問 (16)		北村直人、臼井玲子、斉藤久美子、猪俣治太郎、上田健治、内田美由紀、川口和清、佐々木勲、實藤憲正、鈴木登、橋本洋一、花澤公子、畠山雅子、福田真由美、山崎いく子、山田広美

(2) 認定委員会委員

委員長 菅野茂

委 員 荒井延明、宇山理奈、大島誠之助、四宮勝之、武部正美、対馬美香子、沼田一三、水越美奈、村松梅太郎

(3) 調査研究助成委員会委員

(委員名は非公開)

2) 役員会等の開催

社員総会、理事会、業務執行理事会

会 議 名		開 催 日	審 議 事 項
①社員総会	平成 27 年度定時社員総会	平成 27 年 5 月 23 日 (土)	平成 26 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録承認の件、諸規則変更の件、理事、監事等に対する報酬等の総額の件、理事の選任の件

②理事会	第1回定例理事会	平成27年5月8日(金)	平成26年度事業報告及び決算の承認に関する件、役員候補者提案の件、組織体制の改善に伴う諸規程変更の件、平成27年度定時社員総会招集の件、中期事業計画の件
	第2回定例理事会	平成27年5月23日(土)	役職理事選任の件
	第3回臨時理事会	平成27年6月22日(月)	愛玩動物飼養管理士事業について、受講者数の減少要因の分析及び対策の検討 ペットオーナー検定について
	第4回定例理事会	平成27年11月9日(月)	中間決算の監査及び業務執行報告の件、管理士・ペットオーナー検定の進捗状況について、今後の事業戦略について、規程の改正(「上級愛玩動物飼養管理士細則」「就業規則」)
	第5回定例理事会	平成28年1月8日(月)	夏期募集認定試験合格者決定について、春期募集認定試験合格者決定の追認について、28年度調査研究助成対象者の決定、
	第6回定例理事会	平成28年3月7日(月)	春期募集認定試験合格者決定、規程の改正(管理士認定細則) 28年度事業計画について 28年度収支予算について 27年度決算見込みについて 定時社員総会の開催について 適正飼養プロジェクト助成事業の決定、 今後の事業戦略について ペットオーナー検定事業について
③業務執行理事会	第1回業務執行理事会	平成27年4月3日(金)	人事及び組織体制の件、機関誌の件 管理士事業の件、26年度決算報告 支部組織の見直しの件、各種事業の件、倉庫借用の件
	第2回業務執行理事会	平成27年5月8日(金)	26年度決算報告、第6回定時社員総会招集の件、理事に対する報酬総額の件、役員候補者の提案、職員等の採用、BCP計画の変更等
	第3回業務執行理事会	平成27年6月22日(月)	夏期賞与の件、顧問弁護士契約の件 職員採用の件
	第4回業務執行理事会	平成27年7月30日(木)	27年度第一四半期の業務報告の件 管理士事業の春期募集状況、ペットオーナー検定の進捗状況

第5回業務執行理事会	平成27年8月18日(火)	人事及び組織体制の件、9月号機関誌の件、管理士の夏期申込状況、管理士の広報宣伝の件、ペットオーナー検定の進捗状況、支所長任命及び支所長会議の件、各種事業参画
第6回業務執行理事会	平成27年10月19日(月)	1月号機関紙テーマについて 管理士の夏期募集状況、管理士の広告宣伝、ペットオーナー検定の進捗状況、決算報告及び業務執行報告、支所長の任免、支所長会議 中央行事等、他企業との連携事業 役員懇談会について
第7回業務執行理事会	平成27年11月9日(月)	中間決算の監査及び業務執行報告の件、管理士・ペットオーナー検定の進捗状況について、規程の変更について(上級管理士細則、就業規則)
第8回業務執行理事会	平成27年12月14日(木)	定款の変更、上級管理士認定規則の改正、3月号機関紙のテーマ、管理士 ペットオーナー検定の進捗状況と広告宣伝、1級管理士の登録料の減免、支所長会議及びブロック会議について、ペット業界への普及啓発事業と連携事業について、
第9回業務執行理事会	平成28年1月8日(金)	夏期募集認定試験合格者決定について、春期募集認定試験合格者決定について、28年度調査研究助成対象者の決定、
第10回業務執行理事会	平成28年2月23日(火)	規程の変更(管理士細則)、5月号機関誌テーマ、協会事業の実績と28年度予定、28年度の事業計画と予算等、27年度の決算見込み、プロジェクト助成事業、他業種との連携事業、ペットフレンドリーオーナー推進モデル地区について、
第11回業務執行理事会	平成28年3月7日(月)	愛玩動物飼養管理士試験(2月)の合格者の決定について 定時社員総会の開催について

3) 各種委員会の開催

(1) 委員会の概要

委員会名	回数	審議事項
① 愛玩動物飼養管理士認定委員会	4	通信教育全般、教本審議、スクーリングカリキュラム、課題報告問題作成、認定試験問題作成、認定試験合否裁定等の審議
② 調査研究助成等委員会	2	大学等及び研究所への研究助成

4 支所

平成28年3月末日現在、次の35支所を設置。

7ブロック	支所名
北海道・東北(3)	北海道、秋田県、福島県
関東(7)	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・信越(4)	富山県、石川県、福井県、長野県
中部(4)	山梨県、静岡県、愛知県、三重県
近畿(5)	滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国(7)	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄(5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計	35支所
(注) 未設置県(10県)：青森県、岩手県、山形県、新潟県、岐阜県、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、大分県	
休止支所(2府県)：宮城県、京都府	

5 会員の状況(平成28年3月末日現在)(単位：名)

正会員	団体	11
	個人	92
一般会員		12,671
名誉会員		1
団体賛助会員		13
合計		12,788

※平成27年度3月末日は12,619名

6 職員の状況

常勤役職員の状況

(単位：名)

区分	年度初	増加	減少	3月末
役員	2	1	0	3
職員	10	2	2	10
計	12	3	2	13